患者さんパンフレット

四国がんセンター **呼吸器科**



肺がんの放射線療法を 受けられる方へ

さま



四国がんセンター呼吸器科 病棟

主治医

受け持ち看護師

私たち医療スタッフは

- I. 入院や放射線治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いいたします
- Ⅱ. 放射線治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします

放射線治療について

放射線治療は、がんに放射線を照射することで、がん細胞を傷つけて消滅させる治療法です。放射線は目にみえず、体にあたっても痛みを感じることはありません。また、手術のように大きな傷跡や変形を残すこともないため、臓器の形や働きを残すことができる特徴があります。

定位放射線治療とは、最新の技術を用いて照射範囲を正確に設定し、周囲への不要 な照射を減らしながら腫瘍に高い放射線量を照射し、腫瘍に限定したピンポイント照射を目指した治療方法です。治療部位に集中的に照射するために、体の固定をしっかり行い、呼吸による病巣移動の影響を少なくなるような工夫をします。1回の放射線量が非常に高いため、治療回数も少なくすることが可能です。ただし、高精度な治療であるがために、治療時間は長く、両上肢を挙上した姿勢で動かないように協力していただく必要があります。

☆放射線治療の進め方☆

放射線治療には「診察」「治療計画」「放射線の照射」「経過観察」の4つのステップがあります。

(詳しくは、「放射線治療を受けられる患者さんへ」をご参照ください)

診察	放射線治療医師が、あなたの体の状況や検査結果をもとに 放射線治療について治療の流れ、治療回数や副作用等に ついて説明します
治療計画 (シミュレーション)	治療準備として、治療中に体を固定するための固定具を作成します(固定具を作成することを「型どり」といいます)その後、放射線治療用のCT撮影を行いますそのCT画像をもとに治療医師が体のどの部分に、どれくらいの量の放射線を照射するのかを決定します型どりをする時に、皮膚に特殊なマジックで印をつけます
照射	治療は原則として月曜〜金曜日の合計4〜8回行います 土・日・祝日は休みになります 治療は、作成した固定具に寝ていただき、毎回同じ姿勢で行います 着替えも含めて約30〜40分程度で終了します
経過観察	放射線治療中は放射線治療医師が診察を行います 診察日は火・金曜日の週2回です 体の症状で変わったことがあれば、何でもご相談ください

放射線治療中の注意事項

治療室には患者さん以外は入れません。

治療室では、一人で治療を受けます。 治療中は、操作室のテレビモニターで 放射線技師が観察しています。 気分が悪くなったり、変わったことがあれば、 そのまま体を動かさずにお話ください。



治療中は動かないでください。

治療中に体が動くと、患部に十分な 放射線があたらず、周りの健康な組織に 悪影響を及ぼす可能性があります。

決められた回数の治療が必要です。

放射線治療は治療回数や期間が、治療効果と深く関係しています。 体の調子がよくなっているから、また反対に体調が悪く治療がつらいからといって、 自分の判断で治療をやめてはいけません。

治療のための印(マーキング)は消さないでください。

治療の印(マーキング)のマジックがうすくなったり、誤って消してしまった場合は、 <u>自分で書かない</u>でください。

治療の部位には、絆創膏や湿布など皮膚に刺激を与えるものを貼らないでください。

放射線があたっている部分の皮膚は、治療の回数が増すごとに、日焼けと同じように 赤くなり、皮膚は徐々に弱くなってきます。

皮膚が赤くなったり乾燥してカサカサしたり、かゆみがあっても、<u>自分の判断で軟膏や</u>クリーム・絆創膏をつけないでください。

治療を受ける時間は大体決まっています。

放射線治療部から病棟に連絡があれば来ていただきます。 治療室の中は、他の患者さんが治療をしていることがあります。 お呼びするまで絶対に治療室の中には入らないでください。

放射線治療を受けられる患者さんへ

放射線治療は月〜金曜日(土・日・祝日は除く)の4〜8日間行います。 あなたの治療は(/)より開始し、()回の予定です。

●放射線治療科受診日

- 1. 放射線治療医師から放射線治療について説明があります。
- 2. 入院日を決定します。

★入院日について★

入院日は放射線治療の準備のため、治療開始の約2日前(土・日・祝日は除く)に入院していただきます。

例)木曜日入院して次週の月曜日に治療開始します。

ご協力をお願いいたします。

●入院してからのすすめ方

- 1. 1日目(/)
 - ①体の固定具を作成します。
 - ②体に印(マーキング)を書きます。
 - ③放射線治療計画用のCT撮影をします。
 - ④病棟に帰ります。

★固定具作成とは★

専用のマットの上に寝て、両腕を(耳のそばまで)上げた状態になります。

(肩に痛みを感じる方は申し出てください)。

お腹をバンドで締めて、大きく呼吸ができないようにします。

マットの空気を抜いて体の固定具を作ります。

★マーキングの取り扱いについて★

特殊なマジックで体に印をつけます。

入浴しても構いませんが、印の上はボディソープをよく泡立て、泡を皮膚に塗るようにして洗ってください。

タオルでこすって消さないようにしてください。

濡れた肌は、タオルで優しく押さえるようにして水分を拭き取ってください。

★放射線治療計画とは★

CTによる画像をもとに、コンピューターを使って腫瘍や正常組織などを考慮し、放射線をあてる場所、方向、範囲などを決めます。

- 2.2日目(/)
 - ◆治療室での準備作業がありますが、患者さんにしていただくことはありません。
- 3. 治療開始~終了まで(/ ~ /)
 - ◆治療時間 : 30~40分
 - ◆作成した固定具に入り、1日目と同様の状態になって行います。

<放射線治療の流れ>

放射線治療の順番が来たら放射線治療部より病棟に連絡があります。 病棟看護師がお知らせしますので、診察券を持ってHブロックにお越しください。



Hブロック受付で診察券か腕のバーコードで受付をします。

Hブロック受付スタッフより青いファイルをお受け取りください。



受け取った青いファイルを、H-(80)番のカウンターに提出してください。



お名前をお呼びしますので、それまで待合室でお待ちください。 スタッフが治療室に案内します。



【火曜日と金曜日のみ診察があります】

治療が終了しましたら、スタッフが青いファイルをお渡しします。

診察室(79)番に進み、診察室前のカゴの中に青いファイルを入れてお待ちください。

スタッフが診察室にご案内します。



スタッフが青いファイルを回収します。 診察券を持って病棟にお帰りください。

男 件 女 性 案内図 トイレ トイレ 待合 カゴ 76 リニアック室 79 1 ブロック 78 83 シミュレータ室 女 性トイレ (操作•計画) リニアック室 2 待合 リニアック室 3

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたい ポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で 退院を迎えられるように医療スタッフの目標もあげています

入院期間は約1~2週間の予定です

副作用症状の出現は個人差があり、体の状態によっては予定どおりに 進まないこともありますが、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送れるようにサポート させていただきます



入院日 月



今日の目標

- 入院生活について理解できる
- 治療について理解できる

<時間>	<予定>	
11:00	一入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明(テレビの病院案内も参考にしてください) ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・禁煙の確認 ・医師、看護師より、放射線治療の説明があります わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください。 ・放射線治療準備のための固定具作成(型どり)、マーキング、CT撮影があります *「放射線治療を受けられる患者さんへ」参照
12:00	- 昼食	
14:00	- 検温	
18:00 — 夕食	- 夕食	<お薬> ・他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし 医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
		<食事> ・特に制限はありません ・治療食以外の方は選択食となっています ・食物アレルギーがある方は看護師にお伝えください
21:30 —	— 消灯	<活動> ・制限はありません
2,100		<睡眠> ・眠れない時はお知らせください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標 ・入院生活や放射線治療に対する不安がないよう 支援します













今日の目標

- 治療スケジュール、注意点がわかる
- 治療について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面

7:30 朝食

10:00 検温

12:00 昼食 治療や日常生活のことで わからないことがありましたら 医療スタッフに お尋ねください



18:00 — 夕食

21:30 消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

• 不安なく治療がすすめられるよう支援します



放射線治療期間

月











7:30

今日の目標

- ・治療スケジュール、注意点がわかる
- ・ 治療について理解できる

<時間> <予定>

6:00 — 起床、洗面

- 朝食

*放射線科からの連絡後、Hブロックで治療を受けます

10:00 + 検温

12:00 — 昼食

治療と重ならない時間で シャワー浴をしましょう



18:00 — 夕食

21:30 — 消灯

<治療時間について>

- ・放射線治療は、外来通院で放射線治療を行っている患者さんを優先しています 入院患者さんの治療時間はだいたい決まっていますが固定ではありません 放射線治療を行う患者さんの人数によって変動があることをご了承ください
- お呼びした時に不在の時は、時間をおいて再度お呼びします 病棟で待機する必要はありません

医療スタッフの目標

• 不安なく治療がすすめられるよう支援します



放射線治療最終日

月





今日の目標

• 退院後の日常生活について理解できる

<時間> <予定>

6:00 — 起床、洗面

7:30 + 朝食

10:00 — 検温

12:00 — 昼食

【退院前日】

看護師より退院当日の流れと、退院後の日常生活の 注意点について説明があります



退院後の日常生活や外来受診の ことなど気になることがあれば 遠慮なく看護師にお尋ねください

18:00 — 夕食

21:30 — 消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

• 退院の準備をすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標

• 退院できる

 <時間>
 <予定>

 6:00
 起床 検温

 7:30
 朝食

 退院時入院料金連絡票をお部屋までお持ちします 2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください 次回外来予約票をお渡しします

 お預かりしているお薬、退院のお薬がある場合はお渡しします

 10:00
 退院 退院前にお忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診日は

月 日()時の予定です

*外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります (状況に応じて検査があります)

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

⇒治療後の副作用について

治療後の肺の状態

治療後、約半年間は放射線が照射された肺が炎症をおこし肺炎になることが あります

症状として、空咳が続いたり、また発熱をするときや息切れを起こすことが まれにあります

●ケアのポイント

日頃から咳の状態を観察し、検温を行いましょう 体調管理をして風邪をひかないように注意しましょう いつもと違う咳や発熱が続く時、息切れがある時は病院へ連絡をしてください

治療後の皮膚の状態

治療後の皮膚炎は、終了時の炎症の程度にもよりますが、約2週間までは 変わりません

2週目~約1か月かけて皮膚炎は終息します

放射線のエネルギー量にもよりますが、治療したところの皮膚は乾燥すること があります

日焼けのように皮膚が赤くなっている場合、皮膚炎が終息するころに茶色に 沈着します

茶色に沈着した皮膚は、約半年かけてゆっくり回復します

●ケアのポイント

<治療後の皮膚ケアの方法>

マーキングはこすって消さず、自然に消えるのを待ってください 約1か月間は、今まで通り泡洗浄で洗い、保湿剤を継続してください 治療したところにかゆみがあり、軟膏を使用中の方は症状が落ちつくまで 継続してください

タオル等で治療したところを洗い始めるのは、治療終了後約1か月経過してから再開してください

皮膚が乾燥していると感じた時は、保湿剤を塗るようにしてください 色素沈着した皮膚には直射日光をあてないようにしましょう





●入浴

特に制限はありません

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう 活動の内容や範囲に制限はありません 運動や趣味の活動を行なう上で迷うようなことがあれば、 医療スタッフにご相談ください



●お薬

お薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください 他の病院のお薬を服用する場合は、医師に相談してください

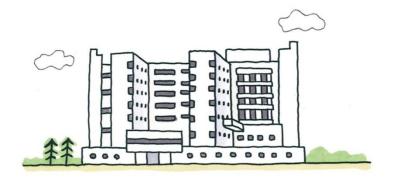


●その他

他の病院を受診する場合は、受診した病院の担当医師に、 当院で放射線治療を行ったことを伝えてください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 37.5度以上の熱が出た時
- ・ 息切れがひどくなった時
- ・咳が増えた時

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、 がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15 四国がんセンター がん相談支援センター (直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝祭日】日直/夜間当直師長(代表番号) 089-999-1111

*外来受診日や検査予約日の変更については、 予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15

(直通番号) 089-999-1112

